

申請区分

R8後期

令和8年10月1日現在の生活状況を記入すること

※ 印の箇所は該当のものを○で囲むこと。該当箇所はすべて正確に記入すること。記入内容が虚偽であったり、該当箇所の記入漏れ等が大量にある場合は授業料免除申請を受け付けられない場合があります。また、内容について大学より問い合わせを行う場合があります。

(様式2) [留学生以外用]

フリガナ

②学籍番号・学年

回生

④休学期間
又は留学期間
【休学理由】

年 月

年 月

①氏名

③所属

柏 原 ・ 天王寺

⑤本人現住所

〒

※ 自宅 ・ 学寮 ・ 下宿 ・ その他

TEL ()

⑥家族住所

〒

※ 自宅 ・ 学寮 ・ 下宿 ・ その他

TEL ()

⑦家族状況 (世帯構成員※1に該当する方は全員記入してください。)。 ※1授業料免除及び徴収猶予 (一般選考) 申請要項の「4. 提出書類」の「(1) 全員共通の注意点」を参照

(#1) 給与所得とは (給与・賃金・賞与・報酬・専従者給与・パート収入・年金・恩給・児童扶養手当・生活扶助・傷病手当金・失業給付金等) をいう。

(#2) 給与所得以外とは (自営・外交員・親戚等の援助・内職・不動産・配当・工農林水産・その他の所得) をいう。

(#3) 家計支持者※2の扶養に入っている方は、扶養欄に○をつけてください。 ※2家計支持者とは父母もしくは父母に代わり家計を支える者のこと。

⑧ 収 入 状 況 (年 収)

(#1) 給与所得等 (千円)

(#2) 給与所得以外 (千円)

所得の種類

収入金額

所得金額

所得の種類

収入金額

必要経費

所得金額

扶養

続柄

氏 名

年令

現在の職業

在職期間

勤 務 先 名

住民税

課 税
非課税

所得金額合計

就学者を除く世帯構成員

(但し収入がある就学者は記入する。)

父

※死亡・生別・退職等の場合 (年 月 死亡 ・ 生別 ・ 退職

母

※死亡・生別・退職等の場合 (年 月 死亡 ・ 生別 ・ 退職

本人

一時所得について (申請時までの6か月間の臨時的な所得について記入すること。)

1, 退職金 令和 年 月 (総額) () 円

2, その他 令和 年 月 (内容;) (総額) () 円

世帯構成員
総数 () 人

扶養

続柄

氏 名

年令

在学学校名

※ 設 置 者

学年

※通学別

※前年度授業料免除状況

控除金額
千円

就学者

本人

大阪教育大学

国・公・私

小・中・高・高専・専修 (高等・専門) ・大学

自宅・自宅外

前期 (全免・2/3免除・半免・1/3免除・不許可・申請なし)

後期 (全免・2/3免除・半免・1/3免除・不許可・申請なし)

本人

国・公・私

小・中・高・高専・専修 (高等・専門) ・大学

自宅・自宅外

前期 (全免・2/3免除・半免・1/3免除・不許可・申請なし)

後期 (全免・2/3免除・半免・1/3免除・不許可・申請なし)

本人

国・公・私

小・中・高・高専・専修 (高等・専門) ・大学

自宅・自宅外

前期 (全免・2/3免除・半免・1/3免除・不許可・申請なし)

後期 (全免・2/3免除・半免・1/3免除・不許可・申請なし)

本人

国・公・私

小・中・高・高専・専修 (高等・専門) ・大学

自宅・自宅外

前期 (全免・2/3免除・半免・1/3免除・不許可・申請なし)

後期 (全免・2/3免除・半免・1/3免除・不許可・申請なし)

⑨本人の状況

前年度 (令和7年4月～令和8年3月) 受給の給付型奨学金について記入すること。貸与型奨学金は記入の必要はありません。今年度分は見込み (内定) のものも記入してください。

給付型奨学金

前年度

名称:

月額

円

年額 (月 ~ 月 まで)

千円

今年度 (令和8年度) 受給

あり・なし

給付型奨学金

今年度 (新規)

名称:

月額

円

年額 (月 ~ 月 まで)

千円

今年度 (令和8年度) 受給

あり・なし

給付型奨学金

前年度

名称:

月額

円

年額 (月 ~ 月 まで)

千円

来年度 (令和9年度) 受給

あり・なし

給付型奨学金

今年度 (新規)

名称:

月額

円

年額 (月 ~ 月 まで)

千円

来年度 (令和9年度) 受給

あり・なし

⑩特別控除 (下記の事項の家庭状況に該当する者は、※該当欄に○印又は記入すること。)

※ 有 ・ 無

母子・父子世帯 (子女が18歳未満及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯等)

【※ 母 子 ・ 父 子 】

千円

※ 有 ・ 無

障害のある人がいる世帯

【続柄; , 人】

千円

※ 有 ・ 無

長期に療養を要する人 (6か月以上療養中の人, 療養を必要とする人) のいる世帯

【※入院・通院・自宅療養】 【続柄; 】

【必要経費療養費; 1か月平均約 円】

千円

※ 有 ・ 無

主に家計を支えている者が別居している世帯 (別居による住居・光熱水費)

【続柄; 】

千円

※ 有 ・ 無

火災・風水害又は盗難などの被害を受けた世帯

【※火災・風水害・盗難】 【災害年月日; 年 月 日】

千円

※ 有 ・ 無

父母以外の者で所得を得ている者のいる世帯

【続柄; 】

千円

学力・単位数

・

所 得

控 除

総所得

家計評価額

適格 ・ 不適格

全免・半免・不許可

色がついた部分は大学記入欄

申請区分		R8後期		※ 印の箇所は該当のものを○で囲むこと。該当箇所はすべて正確に記入すること。記入内容が虚偽であったり、該当箇所の記入漏れ等が大量にある場合は授業料免除申請を受け付けられない場合があります。また、内容について大学より問い合わせを行う場合があります。										(様式2) [留学生以外用]	
令和8年10月1日現在の生活状況を記入すること															
家庭状況調査書															
フリガナ		キョウ イク ジ ロウ		②学籍番号・学年		25××××		2 回生		④休学期間 年 月 日					
①氏名		教育 二郎		③所属		柏原・天王寺		【休学理由】		休学をした期間がある場合は必ず記入					
⑤本人現住所				〒 582-0026 柏原市旭ヶ丘×-×-× ※(自)宅・学寮・下宿・その他 TEL 072 (978) ××××											
⑥家族住所				〒 同 上 ※ 自宅・学寮・下宿・その他 TEL ()											
⑦家族状況 (世帯構成員※1に該当する方は全員記入してください。)。 ※1授業料免除及び徴収猶予 (一般選考) 申請要項のP9「4. 提出書類」の「給与所得の場合: 「源泉徴収票」・「年収入 (見込) 証明書」の金額を記入 (#1) 給与所得とは (給与・賃金・賞与・報酬・専従者給与・パート収入・年金・恩給・児童扶養手当・生活扶助・傷病手当) (#2) 給与所得以外とは (自営・外交員・親戚等の援助・内職・不動産・配当・工農林水産・その他の所得) をいう。 (#3) 家計支持者※2の扶養に入っている方は、扶養欄に○をつけてください。 ※2家計支持者とは父母もしくは父母に代わり家計を支える者のこと。															
家計支持者の扶養に入っているものに○をつける															
⑧収入状況 (年収)															
(#1) 給与所得等 (千円) (#2) 給与所得以外 (千円)															
所得の種類 収入金額 所得金額 所得の種類 収入金額 必要経費 所得金額															
給料 5870 給与以外の所得の場合: 「確定申告書」の金額を記入															
児童手当 120															
営業 145															
不動産 378															
給料 600 年金等: 最新の「年金 (恩給) 額改定通知書」・「年金振込通知書」等の金額を記入															
生活保護受給世帯: 「保護決定通知書」児童扶養手当: 「児童扶養手当証書」等児童手当: 「児童手当支払通知書」等失業者: 「雇用保険受給資格者証」の金額を記入															
給料 360															
所得金額合計 523															
家族数を記入 523															
一時所得について (申請時までの6か月間の臨時的な所得について記入) 1, 退職金 令和 年 月 (総額) () 円 2, その他 令和 年 月 (内容;) (総額) () 円															
退職金: 退職金支払額証明書等 保険金: 保険金支払 (予定) 額証明書等															
世帯構成員 総数 (5) 人															
就学者 (但し収入がある就学者は記入する人)															
扶養 続柄 氏名 年令 在学学校名 ※設置者 学年 ※通学別 ※前年度授業料免除状況 控除金額 (千円)															
○ 本人 教育 二郎 20 大阪教育大学 (国・公・私) 小・中・高・高専・専修 (高等・専門) ・大学 2 (自宅) 前期 (全免・2/3免除・半免・1/3免除・不許可・申請なし) 後期 (全免・2/3免除・半免・1/3免除・不許可・申請なし) 控除金額欄は記入しないでください															
○ 兄 教育 一郎 22 ××大学 (国・公・私) 小・中・高・高専・専修 (高等・専門) ・大学 4 (自宅) 前期 (全免・2/3免除・半免・1/3免除・不許可・申請なし) 後期 (全免・2/3免除・半免・1/3免除・不許可・申請なし)															
○ 妹 教育 あゆみ 17 ○○高校 (国・公・私) 小・中・高・高専・専修 (高等・専門) ・大学 2 (自宅) 前期 (全免・2/3免除・半免・1/3免除・不許可・申請なし) 後期 (全免・2/3免除・半免・1/3免除・不許可・申請なし)															
本人以外が国立学校に在学している場合は「授業料免除実施状況証明書」を提出 国立以外で高校以上の場合は「在学証明書又は学生証の写」を提出															
⑨本人の状況															
前年度 (令和6年4月~令和7年3月) 受給の給付型奨学金について記入すること。貸与型奨学金は記入の必要 (高等学校在学時に受給していた奨学金は記入不要)															
給付型奨学金 前年度 名称: ○○奨学会 月額 30,000 円 年額 (4 月 ~ 3 月 まで) 360千円 今年度 (令和7年度) 受給 あり (なし)															
給付型奨学金 今年度 (新規) 名称: 月額 円 年額 (月 ~ 月 まで) 千円 今年度 (令和7年度) 受給 あり・なし															
⑩特別控除 (下記の事項の家庭状況に該当する者は、※該当欄に○印又は記入すること。)															
※ 有 (無) 母子・父子世帯 (子女が18歳未満及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯等) 【※母子・父子】 障害のある人がいる世帯: 障害者手帳の写を提出															
※ 有 (無) 障害のある人がいる世帯 【続柄; 妹, 1 人】 長期療養を要する人がいる場合: 診断書・申立書・領収書 (6カ月分) を提出															
※ 有 (無) 長期に療養を要する人 (6か月以上療養中の人, 療養を必要とする人) のいる世帯 【※入院・通院・自宅療養】 【続柄; 必要経費療養費; 1か月平均約 円】															
※ 有 (無) 主に家計を支えている者が別居している世帯 (別居による住居・光熱水費) 【続柄; 千円】															
※ 有 (無) 火災・風水害又は盗難などの被害を受けた世帯 【※火災・風水害・盗難】 【災害年月日; 家計支持者が別居している場合: 申立書・領収書 (3カ月分) を提出 千円】															
※ 有 (無) 父母以外の者で所得を得ている者のいる世帯 【続柄; 兄 千円】															
学力・単位数 所得 控除 総所得 家計評価額 適格・不適格 全免・半免・不許可															
色がついた部分は大学記入欄															